

参加者の声

学校／学年／氏名	感想
 <p data-bbox="555 344 676 403">金岳中学校1年 貴船 桃</p>	<p data-bbox="715 304 1433 448">発表前はだいぶ緊張して、お腹が痛くなりましたが、友達や先生が「桃なら頑張れる」と励ましてくれたので、最後まで発表をすることができました。私は「人間が作り出したゴミは人間がどうにかしなくてはいけない」と考えています。その思いが今回の発表をきっかけに、少しでもたくさんの人に伝わってほしいと思います。来年は二年生になるので、一年生を引っ張るとともにさらにSDGsについて詳しくなりたいです。</p>
 <p data-bbox="549 618 683 676">金岳中学校2年 石川 ももな</p>	<p data-bbox="715 573 1433 716">本番まで波が高くて屋久島に渡れないのではと心配でしたが、会場で発表をすることができてよかったです。パワーポイントの操作も一つ一つ確認しながら操作したので間違えなくできました。去年からこの活動を続けてきましたが、これからもSDGsについてもっと勉強をし、海をきれいにするための活動をしたと思います。私たちの発表を見て一人でも多くの人が「自分にできることは何だろう」と考えてもらえたらうれしいです。</p>
 <p data-bbox="555 887 676 945">金岳中学校3年 二神 琉泉</p>	<p data-bbox="715 842 1433 985">世界遺産学習全国サミットに参加することで、工夫された取組が全国で実施されていることを知りました。また、海で泳いだり、魚を捕ったり、豊かな自然の中で生活できていることは当たり前ではないことを実感しました。今回、僕たちも海洋ごみについて発表する機会をいただき、とてもいい経験となりました。これからもプラスチックやごみをしっかりと分別して海や川、山などにゴミを捨てないようにしたいです。</p>
 <p data-bbox="555 1160 676 1218">金岳中学校教諭 徳永 亜美</p>	<p data-bbox="715 1102 1433 1272">今回は、貴重な機会をいただき、ありがとうございました。本校は他県からの留学生が多く、地元で生まれ育った生徒は2人しかいません。しかし、この島で生まれ育ったからわかること、留学生だから気付けることなど、それぞれが意見を出し合い、活動をしたからこそ、本校にしかできない取組ができたと思います。今回改めて口永良部島の自然の美しさと貴重さに気付くことができました。ご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。</p>
 <p data-bbox="549 1429 683 1487">永田小学校4年 杉村 日呂人</p>	<p data-bbox="715 1388 1433 1532">今回の学習で、海外では、苦勞して水くみをしている子どもがいることや、永田の川には、生き物がたくさんいて、その生き物たちと海の生き物、そして、私たちの生活とつながっていることを学び、水の大切さを考えることができました。これまでの水の使い方では、生き物のすみかをうばっていたかもしれないので、多くの生き物といっしょに生きていけるように、まずは歯みがきの時に使う水の量から気をつけていこうと思います。</p>
 <p data-bbox="555 1702 676 1760">岳南中学校1年 岩川 真寛</p>	<p data-bbox="715 1657 1433 1800">今回私達は、児童婚について調べました。その中で初めて知ったことは、児童婚で結婚している子供が1億2500万人で日本の人口と変わりがなかったことです。また、今回の発表で感じたことは、リモートというかたちでしたが他県の人達と一緒に学習ができてよかったと思っています。来年は、現在起きている問題や改善点を調べて今年よりもっといい発表をできるように頑張りたいです。</p>

参加者の声

学校／学年／氏名	感想
 <p>岳南中学校教諭 長嶺 剛</p>	<p>本年度から三年間を見通した学習となり、さらに岳南中アドバイザーとして杉下真緒子先生をお招きして、より深みのある学習へと進化してきました。十月に行ったポスターセッションを経て二月のサミットに臨みましたが、発表の内容や方法について見直し、意識をさらに高めたことにより、積極的に質問する生徒の姿が見られるなど次年度へ繋がる活動になりました。</p>
 <p>岳南中学校2年 吉村 海慧</p>	<p>「安全な水とトイレを世界中に」このテーマについて、最初から具体的な考えがあったわけではなかったが、調べてみると本当にいろんな歴史や問題点が出てきた。さまざまな経緯やドラマがあることを知り、処理方法のバリエーションについても学んだ。1回目の発表を経て、出た反省点をもとにより深く調べ、満を持してサミットに臨んだのであった。</p>
 <p>岳南中学校3年 井上 楓</p>	<p>ポスターセッションを通して、学ぶこともあれば、屋久島について知らないことも沢山あった。今回発表をした「1×2×3次産業」は全国的にも知名度が低いと思うので、この発表で終わらず、しっかりと屋久島で広めて全国に展開されれば、日本の農業はもっと良くなると感じる。また、配信の中で京都府の方から、「屋久島ではどのような作物があるのか」と問われたので、世界遺産としてだけではなく、屋久島の事を広めていきたい。</p>
 <p>岳南中学校教諭 伊藤 和輝</p>	<p>昨年度に取り入れたポスターセッションの課題から、今年度は学年ごとに各ターゲットにおける着目点を明確にし、まとめの方向性を示すことができ、より濃く充実した学習になったと感じます。アドバイザーの杉下先生からの助言を参考にしながら、生徒自らで問題提起、分析、提案と段階を踏み、よりよい伝え方を考えて発表ができました。SDGsや屋久島の諸課題を軸に、大きな気づき・学びが生まれ、今後の活動にさらに期待が持てるよい機会となりました。</p>
 <p>岳南中学校 原崎 森羅</p>	<p>僕は、「世界遺産学習全国サミット」という大きな舞台で、自分の好きな苔をテーマにした発表ができて、とても嬉しかったです。発表に向けて、先生方や友だちの協力をもらいながら作った力作だったので、発表を終えたときはとても達成感を感じました。今回の発表で僕が一番伝えたかったのは、発表テーマでもある「苔の魅力」についてです。総合的な学習の時間を通して苔について深く調べることで、屋久島と世界の環境問題が関連することに気付くことができました。また、他校の発表では、屋久島の自然や生き物を題材にした発表を通して、自分の考え方が広がり、とても勉強になりました。自分が興味を持っていることについて、地球規模の様々な問題と関連付けて考えてみることで、新たな発見ができることを、今回の活動を通して実感できたので、この考え方をこれからも大切にしていきたいです。</p>
 <p>八幡小学校4年 渡邊 美逢</p>	<p>安房小、永田小の発表は、私たちがしていない色々な学習をしていました。いい考えをたくさんもってすごいなと思いました。また、他県との交流も深まり、その中で私がか心に残ったことは、ごみを使ってレコードを作っている学校があったことです。ごみをリサイクルするので、ごみが捨てられずにすむなと思いました。だから私も、これまでの学習を生かして、ごみ拾いとかを積極的にしていきたいと思います。</p>

参加者の声

学校／学年／氏名	感想
 <p>栗生小学校 中島 佑季</p>	<p>私はたんかんを育てるお手伝いをさせてもらう中で、自然の力を使ってたんかんを育てることは素晴らしいことだと感じました。なぜなら、他の地域では甘いたんかんを育てるためにたくさんの肥料を使うと考えられますが、栗生は海が近いことでミネラル豊富な潮風がやってくることや日当たりもいいなど、たんかんを甘くする自然条件がそろっているので、むだなエネルギーはあまり使っていないことが分かりました。これもSDGsの13番「気候変動に具体的な対策を」に関係すると思いました。たくさんのことが学べたんかんづくり。関わってくださった方々に感謝です。</p>
 <p>安房中学校 渡辺 惺風 緒方 謙心 小路口真華 喜 映月</p>	<p>(渡辺) 今回のSDGsの学習を通し、豊かな屋久島や美しい自然環境を、改めて僕たちの手で守っていきたいと思いました。</p> <p>(緒方) 学習していく中で、食べ残しや道に落ちているゴミにも目がいくようになり、これからの屋久島の自然について、深く考えるようになりました。</p> <p>(小路口) 発表を通して、小さな積み重ねが1番大切だと伝えたかったです。私も牛乳パックやトレーのリサイクル等、積極的に行うようになりました。</p> <p>(喜) オンラインでの発表は、相手の顔が見えなかったので新鮮に感じましたが、やはり直接聞いてもらいたかったという思いがありました。少し残念でした。</p>
 <p>八幡小学校5年 泊 蓮央</p>	<p>ぼくたちは、民具倉庫を管理している黒飛さんから稲をいただいて、苗を植えて、初めて学校で米作りをしました。田車やがんづめ、千歯きなどの伝統的な農具を使って楽しかったです。他の学校では、ウミガメの放流をしているのを知りすごいと思いました。ツマベニチョウの栽培を学校でやっているのもすごいです。伝統的なおどりを地域の人に教えてもらい学校でしているのもすごかったです。地域ごとにいろんな活動をしていることがよく分かりました。</p>
 <p>八幡小学校教諭 橋口 和真</p>	<p>この度の実践で、町内の学校、他県の学校、有識者の方々、地域の方々といった、様々なつながりを大切にしました。そのつながりの中で、子ども達の学びは広がりや深まりをもつことができ、持続可能な社会の担い手としての力を育むことができたとします。また、今回の実践の中で印象深かったことは、子ども達の力で鹿肉給食を実現させたことです。子どもも大人も一緒になって、世界の課題を解決していく可能性を見出すことができました。</p>
 <p>宮浦小学校 斉藤 聖愛</p>	<p>私は世界遺産学習サミットin屋久島のポスターセッションに参加しました。総合的な学習の時間に宮之浦の伝統芸能である宮之浦おた踊りに取り組み、感じたことを友達と発表しました。発表をする前にみんなで取り組みをふり返り、おた踊りのすばらしさにも一度気付くことができました。私たちにできることは、このすばらしい宮之浦おた踊りを引き継いでいくことです。これからも学んだことを忘れずに過ごしていきたいです。</p>
 <p>永田小学校教諭 吉富 祐子</p>	<p>今年度「水のつながり」の学習を通して、これまでの活動を相互性の観点から捉え直し実践することで、児童が身近な自然の素晴らしさに気付き、課題設定、課題追究を行い、最後は自分たちの生活に戻すことができました。また、これまでにな多くの方の前で発表をやり遂げたことで児童も教師も成長することができました。今後もこのつながりを広げ、児童が課題意識をもち行動することのできる能力を育成していきたいと考えています。</p>

参加者の声

学校／学年／氏名	感想
 <p>永田小学校6年 牧内 みのり</p>	<p>私は、ポスターセッションに参加して、いろいろな小学校のみりよくや屋久島のみりよくを知ることができました。私たちの小学校では、ポスターセッションを通して「永田の豊かな自然」や「温かい人々がいる永田という地域のよさ」を伝えかけたところ、チャットを見ていると、ちゃんと伝わっていたようだったのでよかったです。リモートのよかった部分は、チャットを使ってリアルタイムで会話ができたことです。会場だったら、そのように会話もできないので、いろんな人の意見を手軽に知れたからよかったです。</p>
 <p>小瀬田小学校 飯島 空</p>	<p>世界遺産の島、屋久島について、島内の学校がそれぞれ調べたことを、発表の仕方を工夫して伝えてくれました。苔のこと、伝統芸能のこと、米作りのこと、ぼんかんやたんかんのことなど、改めて屋久島のすばらしさに触れることができとても勉強になりました。ぼくたちは、ツマベニチョウの生態や特徴について発表しました。もっとツマベニチョウについて調べて、詳しくなりたいと思います。そしてみんなで屋久島の自然を守っていきたいです。</p>
 <p>神山小学校 鎌田 琉聖</p>	<p>5月に種子島の増田小とリモート授業をしたとき、屋久島のことを聞かれました。でも、答えられないことがばかりでした。遠足で屋久杉館に行ったり、ガイドの先生に神山小や公園の自然についてたくさん質問したりして、屋久杉やヒリュウシダ、ツマベニチョウのことを知りました。屋久島の自然がもっと好きになりました。今、ぼくは「自然のみ力マップ」を作っています。み力をたくさんの人に知ってもらいたいからです。いつか、たくさんの人にみ力を伝えるガイドになりたいです。</p>
 <p>安房小学校教諭 窪田 あずさ</p>	<p>この全国サミットを通して、奈良市の先生方をはじめ、屋久島町ESDグローバルアドバイザーの杉下先生、研修センターの福元先生など広い地域のたくさんの先生方と出会うことができました。このことは、私の教員生活にとっての宝物になったと思います。これからも全国サミットを通して培うことのできたことを生かして児童と共に、SDGsについて学び続けたいと思います。このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。</p>
 <p>安房小学校4年 門屋 七海</p>	<p>奈良市平城小の新宮先生と一緒に授業をした時に、ゴミの調査をすることになりました。ゴミ調査をした結果、屋久島の海や川にもゴミが落ちているけど、大人の方がボランティアで掃除をしていることが分かりました。屋久島にも外国の観光客の方がいらっしゃるから、外国の方にも伝わるように、私の個人目標は「外国の方にも分かるようなポイ捨てをしない」というポスターを作る」としました。この全国サミットがあったことでこのような目標ができました。これからも「プラスチックゴミのない屋久島」を目指したいです。</p>